

一般質問とは…市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

山崎 晴生 議員……………P.10

- (1) Wi-Fi 整備などで図書館の利便性向上
- (2) 働き方改革と DX 推進

福島 ヤヨヒ 議員……………P.10

- (1) 子どもや高齢者への十分な熱中症対策を
- (2) 小川庁舎のエレベーターは
- (3) 花火大会の観覧席について
- (4) 学校給食に減農薬野菜を
- (5) 十分な生活困窮者対策を

石井 旭 議員……………P.11

- (1) 農村環境改善センターにアスレチックを
- (2) 定額タクシーの状況について
- (3) 上吉影小学校跡地について
- (4) 鳥獣被害と対策について

宮内 勇二 議員……………P.11

- (1) 農業従事者の安全性向上
- (2) デザインマンホール蓋

内田 和彦 議員……………P.12

- (1) 自治体における婚姻届の記入例見直しを
- (2) 男性育休について

戸田 大我 議員……………P.12

- (1) 玉里総合支所の駐車場の拡張整備を
- (2) 出生数の急減
- (3) 昨年度より高騰し価格の落ちない学校給食の米価への対応について

鈴木 俊一 議員……………P.7

- (1) 小美玉市の物価高騰対策は
- (2) 不妊治療について
- (3) 地域医療充実について

真家 功 議員……………P.7

- (1) そ・ら・らの指定管理に向けた動向を伺う
- (2) 国内交流姉妹都市づくり

香取 憲一 議員……………P.8

- (1) 5 歳児健康診査の早期実現を要望する
- (2) 市民課窓口の課題は
- (3) リサイクル 4 家電の受入
- (4) 部活動顧問の現状と課題

谷仲 和雄 議員……………P.8

- (1) 在宅医療の現状と評価、市の対策を問う
- (2) 空家等対策計画を問う
- (3) 学校体育館空調設備

長津 智之 議員……………P.9

- (1) 第 2 回おみたま花火大会！！
- (2) 農産物のブランド化

鬼田 岳哉 議員……………P.9

- (1) ふるさと納税寄附額 10 億円に向けて
- (2) 自治体の資金運用
- (3) 企業誘致のさらなる推進を
- (4) 小美玉市内学校の安全管理
- (5) 行政働き方改革（10 項目）

市政を問う

12 名の議員が質問





小美玉市の物価高騰対策は？

すずき しゅんいち
鈴木 俊一



録画映像

答弁 市民生活と市内小規模事業者の支援を

問 要因が複雑に絡み合い物価高騰が続いて、市民や市内事業者はひつ迫しており、早急な対策が求められているが対策を伺う。

答 産業経済部長 昨今の物価高騰に対しては、国から物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を目的とした重点支援地方交付金の内示を受けたので、プレミアム商品券事業に関する補正予算を計上すべく、実施主体となる小美玉市商工会と最終的な調整をしている。

不妊治療について

問 出生数が過去最低を記録している。小美玉市での不妊治療の申請件数はどうなっているか。

答 市長公室長 令和4年度は申請件数30件、5年度は37件、6年度は45件であった。不妊治療が令和4年4月から保険適用となったことは大きな前進だが、いまだ高額となる医療費が全額自己負担となっている状況である。不妊治療は、経済的な負担や

身体的な負担も大きいことから、当事者への支援は重要な課題と捉えている。

地域医療充実について

問 出産できる病院および出生数はどのようなになっているか。

答 保健衛生部長 令和6年度では、小美玉市の妊産婦が分娩した県内医療機関は24施設である。近隣では笠間市内の2病院が83人で35%、水戸市内の9病院が77人で33%、土浦市の2病院が36人で15%となっており、笠間市や水戸市、土浦市などへ多くの方が通院し出産されている現状である。出産数は、令和4年度は265人、令和5年度は269人、令和6年度は236人となっている。



そ・ら・らの指定管理に向けた動向を伺う

まいえ いさお
真家 功



録画映像

答弁 8月から9月頃にかけ指定管理者の公募を行う

問 本市は「にぎわいと活力にあふれるまつづくり」の一環として、地域再生拠点施設「そ・ら・ら」の役割に注目し、指定管理者（☑）制度の導入準備を進めているが、現在の進捗や今後の運営方針、期待される効果、また拡張計画との関係性について伺う。

答 産業経済部長 「そ・ら・ら」の指定管理者制度導入に向け、調査や準備を進め、本年8月から9月頃にかけ指定管理者の公募を行い、令和8年度中の移行を目指している。民間のノウハウ活用による効率化やサービス向上を期待し、新まちづくり構想の拡張計画とも連携し、地域の活性化と施設の魅力向上を図る方針である。

再質問 国内交流都市づくりには、本市のさらなる発展、地域活性化が重要である。そこで、千歳市との交流、姉妹都市づくりの促進をどのように考えているのか、決意を含め市長に伺う。

答 市民生活部長 千歳市と共用空港や産業などの共通点を背景に交流を進めており、イベント参加や職員派遣などを通じて、相互理解を深め、将来的には市民や子どもたちを含めた多方面での交流拡大や、地域活性化・観光振興にもつなげていく考えである。

国内交流 姉妹都市づくり

問 本市の持つ茨城空港や百里基地という特性を生かし、共用空港を有する自治体との交流や姉妹都市の締結を計画的に進めるべきと思うが如何に。

答 市長 千歳市は6基地協議会や茨城空港からの就航先であることから、身近なつながりを持つている都市でもある。さらなる関係性を築いていき、議員ご提案のとおり、本市にとって地域活性化につながるような交流を深めていく。

☑ 指定管理者…地方公共団体の施設を代行して包括的に管理する団体のこと。



5歳児健康診査の早期実現を要望する

かとり けんいち
香取 憲一



録画映像

答弁 早期実現に向けた準備を進めていく

問

発達障害等の早期発見診断は重要であり、国も支援強化に乗り出す。実現に向けた小美玉市の見解を伺う。

答

福祉部長 5歳は発達障がいが多いと認知されやすい時期のため、5歳児健診に着手する事が重要であり、現在早期実現に向け検討している。しかし最大の課題として、経験豊かな小児科医などの確保が難しい状況となっている。

答

市長 地元医師会のご協力を頂きながら、医師確保に向け尽力していく。

市民課窓口の課題は

問

市民課窓口の待ち時間の短縮化、職員の過度な業務負担の軽減を図る為に、どのような改善をしていくべきか。

答

市民生活部長 市民課窓口の取扱の現状は月平均で1900件あり、課題は待ち時間の増加と業務時間外の事務処理に追われ多くの残業時間が発生している事などがある。

課題解決に向け、先進自治体の事例を元に、窓口業務の改善に向け策を講じていく。

答

市長 市民の皆様への利便性向上を第一に考え、職員の負担軽減にもに向けた改善策を速やかに進めていく。

リサイクル4家電の受入

問

令和8年度より霞台厚生施設組合（☑）でリサイクル4家電（テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機）の受入れが開始予定だが、市の対応は。

答

市民生活部長 リサイクル4家電の処理は、郵便局でリサイクル券を購入し、市窓口で手続きするなど、煩雑であった。今後は、霞台厚生施設組合において、自己搬入ではあるが、ワンストップで搬入可能となるため、組合から情報提供を受け次第、速やかに市民の皆様へ情報周知を行っていく。

◎その他の質問
部活動顧問の現状と課題

☑ 霞台厚生施設組合…市内で発生するゴミを処理、資源化している施設



在宅医療の現状と評価、市の対策を問う

やなか かずお
谷中 和雄



録画映像

答弁 医師確保などの対応策を協議する場を設ける

問

第8次県保健医療計画では、在宅医療圏を市町村単位で設定している。在宅医療の現状と評価、対策を問う。

答

保健衛生部長 在宅医療については、近隣自治体の医療機関等が補う形で支えられている状況となっており、在宅医療を担う医療機関等の参入が欠かせない。今年度、県や医師会、関係団体との連携を強化するとともに、既に在宅医療を行っている医療・看護関係者から、現状や課題の聞き取りなど実態を把握したうえで、関係者と情報を共有し、医師確保などの対応策を協議する場を設ける。

空家等対策計画を問う

問

補助金活用実績とR8年3月改定での新たな施策を問う。

答

市民生活部長 空き家は修繕費用3件、家財処分費用2件。空家等解体撤去補助金は5件。R6年2

月、支援法人に指定した茨城県宅地建物取引業協会との事業展開を継続しつつ、新たな支援法人を指定する準備を進めている。

学校体育館空調設備

問

空調設備整備臨時特例交付金はR15年度迄の見込み。学校体育館への空調設備設置に関する市の方針を問う。

答

教育部長 今年度内に残り8校全ての空調設備等設置工事の設計委託業務を実施し、設置工事の年次計画作成に取り組み。本特例交付金の対象となるR15年度迄に、計画的に空調設備等を設置していく。



▲長寿命化工事で設置した空調設備（美野里中体育館）



第2回おみたま花火大会！

ながつとしゆき
長津 智之



録画映像

答弁 市制20周年記念霞ヶ浦湖上で8,000発の打上



▲おみたま花火大会の様子

問

花火大会の概要等について

答

産業経済部長 10月4日(土)霞ヶ浦湖上で、市制20周年記念の冠事業として、8,000発の打ち上げ花火大会を実施する。大井戸湖畔公園を有料観覧会場とし、旧玉里東小学校を無料観覧会場とする。

問

交通規制などについて

答

産業経済部長 大井戸平山地区の一部まで交通規制範囲を広げ、安全性と利便性を両立できる方策を講じる。また、観覧者の会場への交通手段を、有料観覧会場及び無料観覧会場ともにマイクロバスによる会場への直接送迎を行う。

問

市内外への情報発信等について

答

産業経済部長 市ホームページによる周知はもとより、区長便を通じてチラシを全戸配布する。また、新たにSNSの活用やライブ中継のほか、小美玉観光協会による観光ツアーの造成など、大会の認知度向上や機運醸成に向けて取組んでいく。

農産物のブランド化

問

農産物等のブランド「小美玉のめぐみ」について

答

産業経済部長 昨年度は8品目を認定した。内訳は、農産物6品目、加工品2品目であった。本年度第2回目の認定を行う。また、加工品の認定を増やして行きたい。

問

認定品の販路拡大戦略について

答

産業経済部長 マスコミへの情報提供と記事掲載、ユーザー、SNSによる広報、茨城県人会へのPRなどを実施してきた。今後も茨城県や関係機関と連携しながら、県内外へ積極的なPR活動を行っていく。



ふるさと納税寄附額10億円に向けて

おにた たけや
鬼田 岳哉



録画映像

答弁 様々な取組に鋭意努め、早期達成を目指す

問

令和11年度での、目標額10億円達成に向けた取り組み状況は如何に。

答

副市長 加工食品等の新たな返礼品の拡充や、様々な施策(ふるさと納税型クラウドファンディング等)を積極的に検討中。さらに寄附者のリピーター化に向けた取組みに注力することで、目標額を早期に達成し、自治体財源の確保に向け、高みを目指していく。

自治体の資金運用

問

基金をはじめとした自治体の資金運用の現状と今後の方針は。

答

会計管理者 令和5年度には約900万円の運用実績がある等、順調に推移している。今後は安全性を最優先としたうえで、他自治体の事例を調査研究しながら、基金の一括運用方式等、さらなる効率的な運用を検討していく。

企業誘致のさらなる推進を

問

企業誘致のターゲットやジェトロ茨城(☑)との連携に関して

答

産業経済部長 伴走型支援事業における適地選定調査と併せて、専門的知見を得ながら業種等のターゲット絞り込みに関する検討を進める。また既に農産物の海外販路開拓に関して、ジェトロ茨城との情報交換に着手していることから、今後は、企業誘致分野でも、他の自治体の先進事例を踏まえて関係構築を検討していく。

小美玉市内学校の安全管理

問

他自治体で不審者侵入による傷害事件が発生したが、当市での対策は問題ないか。

答

教育長 危機管理マニュアルを定め、不審者侵入の防止策、および不審者侵入時の防犯対策を講じており、適宜確認や訓練を実施している。引き続き安全対策を徹底していく。

◎その他の質問
行政働き方改革(10項目)

☑ジェトロ茨城…貿易相談、海外ビジネス情報の提供、商談会への出展、などを支援する機構



Wi-Fi整備などで図書館の利便性向上を

やまぎ はるお
山崎 晴生



録画映像

答弁 関係部署と連携し調査研究を進める

問

電子書籍(☑)導入やWi-Fi整備、駅前拠点の図書館機能充実の方針は。

答

教育部長 図書館サービスの利便性向上に向けて、ネット予約や夜間開館、移動図書館の運行など多様な取組を進めている。羽鳥駅前整備予定の新交流拠点での、Wi-Fi完備の学習スペースや自習室の設置、電子書籍を含む先進的サービスの導入については、多額の整備費や新たなランニングコストなど課題はあるが、関係部署と連携し調査研究を進め、多様な世代が交流する場づくりとなるよう検討していく。

要望

新拠点に限らず、市内すべての図書館・図書室で電子書籍やWi-Fi環境の整備を進め、誰もが使いやすい図書館づくりを要望する。

問

市職員の人材確保に向けた働き方改革に向けた働き方改

働き方改革とDX推進

革とDX(☑)推進の取組方針を伺う。

答

総務部長 職員の安定的な確保に向け、採用機会の拡大やインターン受入れ、若手職員の育成支援に取り組んでいる。働き方改革では、介護や育児との両立を支える柔軟な制度整備と相談体制の強化を進めている。今後も、対象となる職員への支援だけでなく、それ以外の職員についても、制度への理解を図り、職場全体が働きやすい環境となるよう取り組んでいく。DX推進では、職位や経験に応じた研修やリスキリングの支援に取り組み、業務効率化と職員定着を図っていく。

要望

市職員の介護相談窓口の設置を進めるとともに、「働き方改革」と「DX推進」を一体的に進める施策を要望する。

☑電子書籍…デジタルデータで作成された書籍。スマホやタブレットで読むことが出来る

☑DX…デジタル技術を活用して業務プロセスなど仕組みを変革し、効率化や生産性向上を図る(DX= デジタルトランスフォーメーションの略)



子どもや高齢者への十分な熱中症対策を

ふくしま
福島 ヤヨビ



録画映像

答弁 エアコンの適切な利用と注意喚起の徹底を図る

問

学校での熱中症対策はどのように図られているのか。高齢者では命を落とす人も多いが対策と十分な注意喚起を望む。

答

教育部長 学校では気温や室温によりエアコンを適切に使い、水分補給も冷水器の活用が可能。室外の活動においても暑さ指数により対応している。高齢者には様々な場面での注意啓発を図り、関係団体などと連携を図り、対策を進めていく。

小川庁舎のエレベーターは

問

どこに設置され完成はいつか。

答

財務部長 昨年度設計が完成、4月に建築確認も済み、出納室の一部を改修し、来年3月の完成予定である。来庁者には不便をかけないよう工事を進める。

花火大会の観覧席について

問

観覧席の設定はどのようにになっている

か。会場へのシャトルバスなど交通手段はあるか。

答

産業経済部長 大井戸湖岸公園は有料席とし、指定駐車場から直接会場へ送迎する。旧玉里東小中学校は無料観覧会場とし、タスパジャパンミートパークに無料駐車場を設けマイクロバスで送迎する。前回の課題を踏まえ、関係者の協力を得て感動的な大会にしたい。

学校給食に減農薬野菜を

問

安心安全な食材として減農薬野菜の導入を願うが。

答

教育部長 小美玉市では生産者の確保や価格の面など課題が多く導入が難しい。給食の摂取基準や衛生管理基準に基づき、安全でおいしい給食を提供し、地産地消による食育に取り組んでいく。

◎その他の質問

十分な生活困窮者対策を



農村環境改善センターにアスレチックを

いしい あきら
石井 旭



録画映像

答弁 ご提案を視野に入れ効果的な利活用を図る



▲農村環境改善センター
(中台地内)

答 市長 子どもの遊び場設置は市民から要望も多いことから今後整備を進めていかなければならないと考えている。議員のご提案も含め、跡地活用について検討を進めていく。

再質問 アスレチック遊具の整備に関して市長の見解を伺う。

答 教育部長 ご提案のアスレチック遊具の設置は、地域の活性化や市の魅力向上に寄与すると考える。しかし、設置には多くの事業費等が必要となるため、慎重に検討する必要がある。今回のご提案も視野に入れ、効果的な利活用が図られるよう検討していく。

問 農村環境改善センターの傾斜地を利活用し、アスレチック遊具公園を希望ヶ丘公園と一体的に整備するよう提案する。

答 都市建設部長 5月末の登録者は832人である。改善点は、タクシーを長時間待たせる利用や遅い時間帯での運行などである。今後は利用実態を把握し、利用金額などを含め、持続可能な制度設計を検討する必要がある。

問 定額タクシー「おみた」の利用状況と改善点を伺う。

答 都市建設部長 5月末の登録者は832人である。改善点は、タクシーを長時間待たせる利用や遅い時間帯での運行などである。今後は利用実態を把握し、利用金額などを含め、持続可能な制度設計を検討する必要がある。

問 上吉影小学校跡地について

問 旧上吉影小学校跡地に木内酒造(☑)の参入が決定されたが、今後の取組み内容を伺う。

答 副市長 木内酒造との包括連携協定に基づき「起業家等の育成・支援」など6つの項目について、今後具体的な事業展開を連携して取り組む。また、本取組をモデルケースとし、市内の未利用地の有効活用を積極的に図るため、未利用地財産の利活用基準を早期に策定していく。

◎その他の質問
鳥獣被害と対策について

☑ 木内酒造…那珂市にある酒造メーカー。上吉影小学校校舎等を利活用する企業。



農業従事者の安全性向上

みやうち ゆうじ
宮内 勇二



録画映像

答弁 農作業事故防止の啓発活動に努めてまいりたい



問 農作業中の事故発生件数の推移と今後の啓発活動について。

答 産業経済部長 毎年、農作業中に死亡・負傷事故が数件発生している。例年、農繁期前に広報紙で事故防止記事を掲載し、予防啓発に取り組んでいる。また、熱中症対策として、チラシや防災無線を活用した注意喚起も行っている。

要望 本市の基幹産業である農業の更なる発展のため、農業従事者の安全性向上に向けた取り組みをできることができればと進めていただきたい。

問 デザインマンホール蓋

答 都市建設部長 デザインマンホール蓋について市の考えを伺う。

問 下水道広報プラットホーム(GKP)との連携や観光振興、地域活性化の観点から、関係部署が連携し、新たなデザインマンホール蓋やマンホールカードの導入検討について市の考えを伺う。

答 都市建設部長 デザインマンホール蓋やマンホールカードの活用については、先進自治体の魅力発信等の事例を参考に、関係部局と連携しながら調査研究を進めていく。

要望 本市は来年3月に市制施行20周年を迎える。次のステージに向けた魅力発信の好機として、新たなデザインマンホール蓋やマンホールカードを本市のシンボルとするべく、戦略的な導入を進めていただきたい。



▲現在のデザインマンホール

☑ GKP…下水道に携わる人々の情報共有や広報活動を行う全国ネットワーク



自治体における婚姻届の記入例見直しを

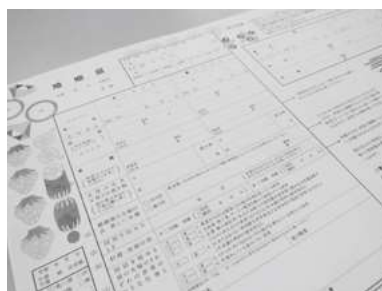
うちだ かずひこ
内田 和彦

録画映像

答弁 夫婦チェックボックスを外し適切な改善を行う

問 救急搬送の出動回数や通報を受けてから医療機関へ收容されるまでの時間、費用など現状を伺う。

救急搬送の現状



▲本市の婚姻届

答 市民生活部長 今後はジェンダーフリー(☑)に配慮し、夫側のチェック欄のチェックを外すなど、適切な改善を行う。

問 本市の婚姻届記入例について、婚姻後の夫婦の氏を選ぶチェック欄には、最初から夫側にチェックが入っているため、無意識に妻の氏を選択余地を奪ってしまうことになりかねない。夫と妻のどちらでも選択できることが理解されるよう見直しが必要と考えるが見解を伺う。

答 総務部長 男性育休取得を推進するためには、制度の整備と周知、柔軟な働き方の導入、助成金制度の活用、そして社会全体での意識改革が重要である。これらの取組を通じて、家庭と仕事の両立を支援していくことが大切だと考えている。

問 今後、男性育休取得推進をより一層進めていくために、どのようなことが重要か見解を伺う。

男性育休について

答 消防長 昨年度の救急出動回数は1725件で、收容までの平均時間は通報から現場まで約10分、現場滞在約23分、現場から医療機関まで約20分で計約53分である。出勤経費は1回当たり約4万4千円である。引き続き真に救急医療を必要とする傷病者に適切な医療を提供できるよう努めていく。

☑ ジェンダーフリー…男女が平等に自らの能力を生かして自由に行動・生活ができること



玉里総合支所の駐車場の拡張整備を

とだ だいが
戸田 大我

録画映像

答弁 施設内及び施設周辺の調査研究を行う

問 出生数の急減により今後市内全体の保育施設を巡る状況は大変厳しくなると予測されるが、市の対応について伺う。

出生数の急減

要望 お年寄りや障がいをお持ちの方でも余裕のある駐車スペースを確保する必要がある。周辺土地への拡張を含め、ご検討いただきたい。

要望

答 市民生活部長 同敷地にある玉里保健福祉センター・社会福祉協議会主催の事業の際に、駐車スペース以外にも駐車するケースが見受けられ、駐車場の手狭や来庁する車の走行に支障が生じており、新たな駐車スペースの確保、整備が課題として挙げられる。

問 玉里総合支所の駐車場は、駐車台数が少なく狭いといった声があるが、現状と課題を伺う。

答 福祉部長 出生数は年々減少傾向にあるが、認可保育所では定員が横ばいである一方、認定こども園は大幅な定員減が行われている。今後も少子化による出生数の減少が想定される中で、運営法人と協議を行いながら、適正な定員管理に努めていく。



▲本市の出生数と保育利用量(戸田作成)

◎その他の質問
昨年度より高騰し価格の落ちない学校給食の米価への対応について

要望 保育施設は地域の重要なインフラであるので、今後十分な留意と対策を願いたい。